

主要施策名:(2)社会教育の充実

事務事業本数:17

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
③人をはぐくむまちづくり	(2)社会教育の充実		320-1	社会教育委員・指導員活動及び研修事業	生涯学習課
			320-2	成人式開催事業	生涯学習課
		(1)生涯学習の推進	321-1	高齢者教室開催事業	生涯学習課
			321-2	生涯学習推進事業	コミュニティ推進課
			321-3	公民館支館活動推進事業	コミュニティ推進課
			321-4	なかよしの日事業	コミュニティ推進課
			321-5	岱明町ホテルの里維持管理事業	コミュニティ推進課
			321-6	図書館運営事業	コミュニティ推進課
			321-7	子ども読書推進事業	コミュニティ推進課
			321-8	図書館システム事業	コミュニティ推進課
			321-9	図書館施設管理事業	コミュニティ推進課
		(2)社会教育の推進	322-1	社会教育団体支援事業	生涯学習課
			322-2	放課後等の支援活動事業	生涯学習課
			322-3	人権教育啓発推進研修事業	生涯学習課
			322-4	青少年センター事務局事業	生涯学習課
		(3)社会教育施設の充実	323-1	公民館施設管理・運営事業	コミュニティ推進課
			323-2	自治公民館施設整備事業	コミュニティ推進課

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	社会教育委員・指導員活動及び研修事業		所管課 【2】	生涯学習課
			評価者(担当者)	山川 祐樹
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法、市社会教育委員設置条例、市社会教育指導員に関する規則 】			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】			款 10 項 5 目 1 細目 2

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	教育に関する知識をあらゆる生涯学習に生かしながら、各種事業への協力および助言が必要とされているとともに、市民の意向を生涯学習事業に反映させるために、社会教育委員からの生涯学習事業への指導・助言をする仕組みづくりが必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、社会教育委員、社会教育指導員
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	生涯学習の各分野についての直接指導および相談等に社会教育指導員があたり、社会教育事業全般を充実させる。また、各研修会への参加により社会教育に関する知識を深めていただき、会議等において業務への助言を求める。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	・社会教育の特定分野の生涯教育及び家庭教育、青少年教育、人権教育、社会体育、社会教育団体、社会教育施設運営(7項目)について直接指導と学習相談に教育委員会が任命した2名の社会教育指導員をあたらせる。 ・社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する意見と研究調査、青少年教育の特定分野に係るものへの助言と指導を教育委員が委嘱した13名の社会教育委員に行わせる。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 社会教育委員活動及び研修事業 ② 社会教育指導員活動事業 ③ ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	%	0	0	0	0	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		1,074	1,130	1,977	2,141	0
	【16】 小 計			1,074	1,130	1,977	2,141	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			882	882	1,764	1,764	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		0.19	0.41	0.43	0.43	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計			1,095	2,407	2,525	2,525		
合 計			2,169	3,537	4,502	4,666		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 社会教育委員活動及び研修事業	委員による教育委員会諮問への意見や調査研究を行う。	会議等参加回数	回	7	7	7	7
② 社会教育指導員活動事業	指導員による特定分野への指導や学習相談等を行う。	放課後子ども教室等参加回数	回	10	12	18	20
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 社会教育委員活動参加者数	委員として委員会会議や各種事業に参加した延べ人数	人	—	—	—	—
			38	36	38	
2 社会教育指導員助言等回数	指導員が指導・助言・相談を行った回数	回	—	—	—	—
			20	18	21	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	社会教育の推進を図るうえで、行政の立場だけではなく様々な職種の方々による適切な助言及び指導は必要不可欠である。事業をやめた場合、社会教育行政への諮問機関がなくなり社会教育の十分な振興が行えない。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	生涯学習事業全般において、教職員の方から経験を生かした指導・助言・相談を行っていただいているが、幅広い見地から助言や指導を仰ぐためには、事業の活性化および指導者育成を図る必要がある。また、社会教育事業や運営委員会に社会教育委員を担当として配置しているが、更に社会教育に対する知識の習得と積極的な助言をいただくためにも、さまざまな職種の方々の登用を行っており、研修会議等への参加を促している。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	社会教育委員として役割を再確認してもらうため、研修会の機会を増やした。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	生涯学習の振興と指導者育成を図るために、社会教育指導員および社会教育委員の研修等の機会や委員相互の経験等を話し合える意見交換の場を設け、充実を推進する。また、幅広い見地から助言、指導ができるよう努めていく。	評価責任者 木村 隆宏
------------------	---	----------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	成人式開催事業		所管課 【2】	生涯学習課
			評価者(担当者)	山川 祐樹
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 1 細目 11			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	満20歳を迎えたことで、成人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人者を祝い励ます機会は重要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	当該年度に成人式を迎える市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	成人として自覚と責任を促し、地域社会の一員としての期待を認識させる。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	各中学校区の新成人者の代表2名ずつを「成人式実行委員会委員」として選出し、その実行委員会にて企画運営を行い、イベントの実施と式典により成人式を開催する。 【実行委員会の役割】式典の企画と運営、当日の式典運営、アトラクション、記念品、案内状のデザイン、成人式のテーマ(実行委員会の実施回数は7回程度。) 【市の役割】対象者案内・会場予約、広報、来賓通知、予算執行、実行委員会の運営など個人情報を扱う業務については市で実施している。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 玉名市成人式開催事業 ② ③ ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	852	852	852	958
	【16】 小計	852	852	852	958	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.40	0.27	0.23	0.23
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計		2,304	1,585	1,350	1,350	
合計		3,156	2,437	2,202	2,308	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 玉名市成人式開催事業	成人式実行委員会を組織し、成人者の企画運営により式を挙げる。	成人式案内者数	人	738	695	691	612
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 成人式参加率	【参加者/案内者数×100】	%	80.0	85.0	75.0	75.0
			82.0	75.0	81.0	
2 成人式満足度	式当日に実施するアンケート調査での参加者の満足度の平均回答値	%	***	80	80	80
			***	95	95	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	新成人という自分達のために行うイベント企画運営の中で自ら主人公となり、脇役となり、成功まで導く体験が社会人として豊かな心と広い視野、義務及び責任を自覚するきっかけとなる。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	<p>新成人者の代表で構成した成人式実行委員会によって、式典の企画および運営を行っている。できる限り実行委員の自主性に任せ、委員のみんなで企画等について話し合いを行い行動させることによって毎年、様々な趣向を凝らしたアトラクションが企画されており、新成人者の良い思い出に残るとともに、実行委員個人にとっても達成感や責任感を感じられる良い機会となっている。今後も引き続き実行委員会のサポートを行っていく。</p>
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	<p>今年度の実行委員会に対し、昨年度のアンケート調査結果等を踏まえた助言を行っていく。</p>

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	<p>将来の玉名市を担う若者のため、成人となったことを市としてお祝いすることは意義のあることであり、親への感謝の気持ちを表す場としての意味合いもある。成人式参加率目標達成のためのPRや周知を進めるとともに、実行委員の充実感や参加者が思い出に残るような工夫が必要である。今後も現状のまま開催していきたいと考えている。</p>	評価責任者 <b>木村 隆宏</b>
------------------	---	-----------------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	高齢者教室開催事業		所管課 【2】	生涯学習課
			評価者(担当者)	鷲森豊満
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)生涯学習の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市総合計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input checked="" type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 1 細目 12			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	生涯学習の立場から人口構成上高齢者社会の問題からも、高齢者教育の意義は極めて大きい。高齢者自身が高度に発展して行く社会に適合しながら能力を高め、自主的に生活を享受するとともに生きがいのある生涯を送れるよう活動の場を提供する。
対象(誰、何に対して) 【9】	高齢者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	高齢者教室を通して、豊かな老後をつくり、社会的教養を高め社会に適応できる能力を養い、社会参加の道を求め健康維持に努めることを目的とする。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・玉名地区は5月から8月までの期間を前期、10月から2月までの期間を後期とし、各6回、計12回の高齢者教室を開催する。 ・横島地区は、地元団体が企画立案を行い、市がサポートを行い、いきいきシルバー大学と称して年3回の教室を開く。 ・天水地区はつらつ健康大学と称して年1回の教室を開く。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 高齢者教室事業(中央) ② はつらつ健康大学事業(天水) ③ いきいきシルバー大学事業(横島) ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	203	237	236	264	
	【16】 小計	203	237	236	264	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.07	0.05	0.05	0.05	
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計		403	294	294	294		
合計		606	531	530	558		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 高齢者教室事業(中央)	高齢者へ学習の場を提供する	講座開催回数	回	12	12	12	12
② はつらつ健康大学事業(天水)	高齢者へ学習の場を提供する	講座開催回数	回	3	1	1	1
③ いきいきシルバー大学事業(横島)	高齢者へ学習の場を提供する	講座開催回数	回	1	3	3	3
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 講座受講者数	年間延べ人数	人	780	650	550	450
			707	581	432	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) B	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	高齢者が健康で毎日を過ごしていくためには生きがいづくりが必要である。高齢者は生活や健康について不安になることが多く、そのような状況をできるかぎり排除するために市が高齢者教室を実施し、仲間づくりや、楽しみ、学習の場を提供することは大切なことである。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定)	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	高齢者教室の参加人数が年々減っている背景には講座の内容が毎年同じテーマであるためだと考えられる。今後は内容を変えるなどして参加者を増やしていきたい。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input type="checkbox"/> 十分 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	高齢者が精神的にも身体的にもできるだけ健康でいきいきと生活し活動を続けられることは、家族にとっても地域によっても望ましいことである。高齢者教室への参加者はある程度落ち着いてきているが、一人暮らしの高齢者教室も増加しており、高齢者同士の自主的な活動も促したい。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	高齢者の生きがいづくりと健康づくり活動は、身近な地域で若い世代とともに地域安全を活性化する上で重要なことであり、今後とも事業を進めていく。	評価責任者 木村 隆宏
------------------	---	----------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	生涯学習推進事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	松永 千秋
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)生涯学習の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 2 細目 6			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	生涯学習の立場からも人口構成上高齢者社会の問題からも、高齢者教育の意義は極めて大きい。また、公民館講座については、個人の学習機会を充実することのみならず、その成果を家庭・学校及び地域社会に生かすことが必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	子どもから高齢者まで生涯にわたって、家庭・学校・地域社会に還元できるように学習内容を検討し、人々が生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価され生かされる生涯学習社会の実現を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	子どもから高齢者まで生涯にわたって学習できるように、多様な学習機会及び集会の場として、各種公民館講座を開催し、2月には生涯学習フェスティバルを開催し、講座の成果を発表していただき、広く市民の方々への公民館講座の啓発を兼ねる。また、各館独自の事業として、子ども相撲大会、集団合宿など地域の特色ある社会教育事業を実施する。		事務事業を構成する細事業【15】
			① 中央公民館生涯学習事業 ② 岱明町公民館生涯学習事業 ③ 横島町公民館生涯学習事業 ④ 天水町公民館生涯学習事業 ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	5,041	4,504	3,824	4,187	
	【16】 小計	5,041	4,504	3,824	4,187	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	611	603	653	653		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	1.60	1.55	1.45	1.45	
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計	9,218	9,100	8,513	8,513			
合計		14,259	13,604	12,337	12,700		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 中央公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	161	154	143	140
② 岱明町公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	59	75	66	60
③ 横島町公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	56	55	51	60
④ 天水町公民館生涯学習事業	各種講座を開催し、子どもから高齢者までの学習の機会を与える。	講座開催回数	回	56	56	56	60
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 講座受講者数	年間延べ人数	人	6230 4742	5850 5349	5850 5239	5750
2 公民館事業の参加者数	年間延べ人数	人	386 382	370 1197	720 781	670

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	公民館は、生涯学習実現のため、市民の学習意欲を促す必要がある。事業をやめた場合、市民の教養、健康増進、感性を磨く機会を減らすことになる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	公民館講座も、開催回数が進むにつれて、欠席者が多くなっていく。最後まで参加していただくような目標を提示する必要がある。アンケートにより新しい講座の取り組みも必要。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	アンケート調査を実施し、利用者のニーズに合った講座展開に努めていく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	横島公民館において子供を対象にした講座を実施し、受講者数と受講者層の拡大を図った。夏休みに開催した子どもを対象とした講座実施に伴い、7月・8月の公民館公用利用が増加し、一定の成果があったと思われる。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	公民館講座は、受講者の学習機会を充実させるだけでなく、その成果を地域社会に活かすことを目的としている。市民の最も身近な生涯学習の場や地域づくりの拠点として、公民館講座を継続実施していく。	評価責任者 松下 匡
------------------	---	---------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	公民館支館活動推進事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	松永 千秋
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)生涯学習の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法、玉名市公民館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 2 細目 7			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	生涯学習社会の確立のためには、各支館活動の充実が不可欠であることから、それぞれの支館が個性や創造性を生かした計画づくりを行うとともに、地域の担い手の育成を積極的に推進する必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、支館
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	支館長会議、研修会等の開催や委託料(運営費)での支館活動を支援し、支館長を中心にした支館活動の活発化を図るとともに、支館活動の目的に応じた文化・スポーツ事業等を通して、地域住民の連帯を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	地域力向上と住民主体の活動を推進するため、支館長会議や支館長研修会及び公民館研修会等に支館長及び公民館職員が参加し、支館長のリーダーとしての資質向上を図る。また、支館運営については、各支館に委託しており、地域性にあった各種スポーツ大会や文化事業などが自主的に実施できるように支援している。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 玉名市公民館支館長育成事業 ② 玉名市公民館支館活動推進事業 ③ 岱明町公民館支館事業支援業務 ④ 横島町公民館支館事業支援業務 ⑤ 天水町公民館支館事業支援業務

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	%	0	0	0	0	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		8,164	8,545	8,292	8,701	0
		【16】 小計		8,164	8,545	8,292	8,701	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		611	603	632	632	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		1.13	1.35	1.30	1.30	
		職員の年間平均給与(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計			6,510	7,926	7,632	7,632		
合計			14,674	16,471	15,924	16,333		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 玉名市公民館支館長育成事業	支館長会議・研修会を開催する。	研修会実施回数	回	3	3	3	3
② 玉名市公民館支館活動推進事業	公民館支館運営のために委託料を支出し、活動支援を行う。	委託料交付団体数	団体	21	21	21	21
③ 岱明町公民館支館事業支援業務	支館活動を通したまちづくりの支援を行う。	支援支館数	支館	4	4	4	4
④ 横島町公民館支館事業支援業務	支館活動を通したまちづくりの支援を行う。	支援支館数	支館	1	1	1	1
⑤ 天水町公民館支館事業支援業務	支館活動を通したまちづくりの支援を行う。	支援支館数	支館	3	3	3	3

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 支館事業実施回数	支館が主催した事業の回数	回	70	72	79	78
			72	86	64	
2 支館事業参加人数	支館が主催した事業の参加人数	人	13500	13500	14100	13700
			13337	16276	10423	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	市は支館に対し、地域コミュニティにおける地域づくり、人づくり事業として委託しており、自主性を重んじている。事業を止めた場合は、地域コミュニティの醸成や担い手支援に支援をきたすことがある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	更なる協議をしながら、地元の現状の把握を進め、まちづくり、文化面での事業拡大を促すことを目指す。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	地域活動の観点から現状把握に努めてから、活動充実を促していく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	公民館支館は、市民主体の地域公民館活動の核となっている。地域コミュニティの構築や担い手づくりに大きな役割を果たすため、支館長研修や各支館活動に対する行政からの支援、情報提供などを継続して行っていく。	評価責任者 松下 匡
------------------	---	---------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	なかよしの日事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	松永 千秋
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)生涯学習の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 2 細目 16			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	今日の社会においては、育児や教育に不安や悩みを持つ親が多く、育児放棄などの児童虐待は深刻化しており、子どもを取り巻く環境は厳しいものがある。大切な思いやりや、ささえ合う心無くしていく傾向にあり、変貌する社会の中で、人と人のつながりが希薄化している。
対象(誰、何に対して) 【9】	親子、ともだち、学校、地域住民、家族
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	子どもたちが安心して、安全に健やかに成長できるように、親が子を育てる喜び、子が成長する喜びを感じる社会をつくる。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H22 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	「家族・ともだち・学校・となり近所・地域全体」の五つのなかよしの基本理念から制定した「なかよしの日」を、広く市民に浸透させ、それぞれの関係で喜びを感じられる社会の実現のために、普及啓発イベントの開催、啓発グッズ製作や配布等を行う。		事務事業を構成する細事業 【15】
			① なかよしの日事業 ② ③ ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	%	0	0	0	0	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		999	700	1,047	1,400	0
		【16】 小計		999	700	1,047	1,400	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		0.34	0.36	0.36	0.36	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計			1,959	2,114	2,114	2,114		
合計			2,958	2,814	3,161	3,514		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① なかよしの日事業	イベントの開催や関連グッズの配布により、なかよしの日の普及と啓発を図る。	イベント開催回数	回	1	1	1	1
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 「なかよしの日」イベント参加者数	参加者数	人	300	500	500	500
			480	800	800	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) C	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	子供たちの心豊かな人兼形成や家庭を大切にすることを養うこと、地域で子供を見守る環境形成は必要と思われるが、7回目の事業実施を経て、今後の展開方法を検討する余地があると思われる。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	合併後12年が経ち、なかよしの日としては昨年度で7回実施している。今年度からは生涯学習をとおしての「なかよし」を推進するため生涯学習推進事業の生涯学習フェスティバルと同日に開催する予定である。今後は公民館講座等において参加者同士のともだちの「なかよし」や、親子講座においては家族の「なかよし」などを推進していきたい。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	平成28年度は、人権啓発課の男女共同参画フォーラムと共同で同日開催を行い、人権関係団体にも広く案内を流すなど新たな集客確保に努めた。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	今後も地域や学校などと連携し、子どもたちが安心、安全に健やかに成長できるような地域づくりの推進を図るため、啓発イベントを実施するとともに、執行方法やPR方法の改善を図り実施していく。	評価責任者 <b>松下 匡</b>
------------------	---	----------------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	岱明町ホテルの里維持管理事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	森山 昌秀
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)生涯学習の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 2 細目 17			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	水環境の変化でホテルが息しにくい環境となっているが、ホテルの保護や自然環境整備により改善が認められる。現在ホテルの里は、地元小学校等の環境教育の場でもあり、訪れる人々に環境保全の大切さと自然の豊かさを再認識させるものとなっている。依然、環境の変化による水量の問題等が課題であるため、玉名市の恵まれた自然環境という財産保護の一環として、ホテルの里事業の役割は大きい。
対象(誰、何に対して) 【9】	施設(ホテルの里)・市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	ホテルの保護・育成を通じて、市民の自然環境保全への関心を高めるとともに、活動の輪を広げる。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	ホテルの繁殖活動を通じてホテルの里づくり・環境保全を進め、環境意識の高揚を図っている。 ・給水管やポンプ等の設備の維持管理 ・ホテル観賞会(5月)、産卵用の成虫採集(6月～7月)、幼虫の開田川放流(10月から) ・水質調査、人工飼育、生態に関する研究、除草・清掃・開田川整備
	事務事業を構成する細事業【15】 ① 岱明町ホテルの里維持管理業務 ② 岱明町ホテルの里委託業務 ③ ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	985	1,212	928	806
	【16】 小計	985	1,212	928	806	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
職人 員 件 の 費	職員人工数	0.15	0.15	0.15	0.15	
	職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
	【17】 小計	864	881	881	881	
合計		1,849	2,093	1,809	1,687	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 岱明町ホテルの里維持管理業務	施設の点検、修理等を行い、適切に管理を行った。	点検、修理確認回数	回	20	24	17	20
② 岱明ホテルの里委託業務	ホテルの生育に必要な環境の整備を外部に委託して行った。	環境保全活動日数	日	350	366	365	365
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 成虫したホテルの割合	幼虫から成虫になったホテルの割合	%	25	25	25	25
			16	25	25	
2 ホテルや環境保全に関心を持つ人数	観賞会・保護活動等に参加した人数	人	2100	2300	2500	2500
			3030	3430	2925	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	ホテルが飛び交う豊かで美しい自然環境は玉名市の財産であり、その保全は地域・学校・行政が連携して進めるべき大切な事業である。また、地元小学校の自然環境学習に大変貢献しており、廃止等は影響が大きいと予測される。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	ホテルの里を、地元小学校・子供会などの環境学習の場として有効に活用しており、本事業の継続は妥当である。また、ホテルの里としてはこれからも自然環境保全の啓発、PR、保護活動を積極的に推進するとともに玉名市のイメージアップに努める。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	子どもたちや市民の環境学習の場とし、自然環境保全の大切さや地域ボランティア活動の拠点として、ホテルの里の適切な自然保護を行い、今後も、自然が奏でる美しさを体感できる機会づくりに努めていく。	評価責任者 松下 匡
------------------	--	---------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	図書館運営事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	小山 聡
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)生涯学習の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 3 細目 2			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	今日の図書館においては、多様化、高度化する市民の学習ニーズに対応できる図書資料の整備が求められていることから、各図書館の蔵書及びその構成、システム等の専門知識を備えた公共図書館としてサービスを提供する必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	図書館利用者、団体、図書館
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	窓口サービスを向上させ、利用者ニーズにあった図書資料を計画的に収集することで、蔵書の充実を図り、より多くの方に利用してもらう。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・窓口業務をととして図書館運営の充実を図る。 ・利用者のニーズにあった図書資料を収集して計画的に蔵書の充実を図る。 ・市民のニーズにあった図書備品の購入。 ・寄付金を活用して図書資料(児童書)の充実を図る。 ・図書館の利用拡大及び読書推進を図るための運営や管理を行うために、協議会に対し館長が諮問し、図書館方針について、いただいた意見を反映する。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 図書館窓口業務 ② 図書館資料整備事業 ③ 図書備品事業 ④ ふるさと寄付金活用図書資料整備事業 ⑤ 図書館協議会運営事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	52,384	53,479	55,674	58,972
	【16】 小計	52,384	53,479	55,674	58,972	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,208	1,208	1,208	1,208	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.30	0.30	0.30	0.30
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計		1,728	1,761	1,761	1,761	
合計		54,112	55,240	57,435	60,733	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 図書館窓口業務	委託業者により貸出・返却などの窓口業務を行う。	図書館(3館)の平均開館日数	日	290	290	270	290
② 図書館資料整備事業	収集方針に基づき購入図書を選定や発注を行う。	年間購入冊数	冊	9449	9173	9059	11000
③ 図書備品事業	市民のニーズを踏まえた本や視聴覚資料の購入を行う。	年間購入資料数	点	16	9	22	35
④ ふるさと寄付金活用図書館資料整備事業	寄付金により図書資料を購入する。	年間購入冊数	冊	317	263	26	0
⑤ 図書館協議会運営事業	図書館方針について諮問するため協議会を開催する。	協議会開催回数	回	2	2	4	2

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 人口一人当たり図書貸出冊数	人口一人当たりの図書貸出冊数	冊	6.00	5.50	5.50	5.50
			5.10	5.20	4.90	
2 利用者一人当たり図書貸出冊数	利用者一人当たりの図書貸出冊数	冊	4.00	4.00	4.00	4.00
			3.70	3.80	3.70	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業を廃止すれば、計画的な資料の収集や蔵書の充実が図られず、文化的教養が高められない。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	天水町公民館図書室については、施設の集約化に伴い施設面積を増床し、併せて、今後計画的な購入により蔵書整備を行うことで利用者の増加が見込まれる。
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性 【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	<p>今後もカウンターでのリクエストやWeb上からのリクエストを元に市民ニーズを把握するとともに、窓口業務の委託業者と定期的な協議を行い、更なる利用者の増加を図る。また、天水公民館図書室については、現在、土曜日及び日曜日が休館日となっているが、民間委託の導入することにより、休日開館や施設利用時間の延長等が図られ、利用者の増加や利便性の向上が見込まれるため、民間委託の導入について検討を行う。</p>
前回の評価結果に対する見直し・改善状況 【32】	<p>読者ニーズを常に意識した新刊書の選書や学習・情報収集の場としての専門書の充実を実施した。</p>

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	<p>利用者が求める資料の収集等を行い蔵書の整備に努め、市民のニーズに応えられるよう継続して事業を進めていく。また、窓口業務のサービス向上のため、窓口業務等の委託業者と協議調整を行い、連携を強化していく。</p>	評価責任者 <b>松下 匡</b>
-------------------	--	----------------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	子ども読書推進事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	小山 聡
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)生涯学習の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例、子どもの読書活動の推進に関する法律 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画、玉名市子ども読書活動推進計画(第二次) 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 3 細目 3			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	現在こどもの生活環境はテレビやゲーム、携帯電話、インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及により情報が氾濫する中正しい判断能力が必要とされる。さらに幼児期からの読書週間の未形成により読書離れが進行し、その影響が懸念される。国は「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布するなど、すべての子どもがいつでも、どこでも読書ができる環境づくりに取り組む事とされている。
対象(誰、何に対して) 【9】	乳幼児、小学生、中学生、高校生
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	図書館への関心を深めるとともに、子どもが読書に親しむ機会を提供し読書環境の充実に努める。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・子どもが読書に親しめるように家庭、学校、関係機関等と連携・協力して読書に親しむ機会を提供する。 ・図書館から離れた保育所(園)・幼稚園・小学校を移動図書館車で巡回して貸出を行い読書に親しんでもらう。 ・ボランティアの協力で赤ちゃんとお母さんにブックスタートパックを紹介し絵本を配布する。 ・各図書館でボランティアグループによるおはなし会を行う。
	事務事業を構成する細事業【15】 ① 子ども読書活動推進事業 ② 移動図書館車事業 ③ ブックスタート事業 ④ 図書館ボランティア事業 ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,646	2,764	1,945	1,173	0
		【16】 小 計	2,646	2,764	1,945	1,173	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	806	806	806	806	
	職人 員件 の費	職員人工数	0.40	0.40	0.40	0.00	
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小 計		2,304	2,348	2,348	0		
合 計			4,950	5,112	4,293	1,173	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 子ども読書活動推進事業	童話発表大会・読書感想文等の読書に親しむ機会を提供する。	子ども読書活動行事実施回数	回	8	8	8	8
② 移動図書館車事業	移動図書館車で市内の保育所、小学校等を巡回する。	巡回回数	回	418	413	421	413
③ ブックスタート事業	乳幼児4ヶ月健診での読み聞かせと絵本を配布する。	絵本配布数	冊	1034	1074	1008	1050
④ 図書館ボランティア事業	各図書館でボランティアグループによるお話をを行う。	お話会活動回数	回	34	34	25	34
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 高校生以下図書カード登録者数	高校生以下の図書カード登録者数	人	350	350	350	330
			311	327	322	
2 高校生以下利用者一人当たり図書貸出冊数	高校生以下の利用者一人当たりの図書貸出冊数	冊	3.50	3.50	3.50	3.50
			3.10	3.20	3.10	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業が廃止になれば、さらに読書離れが懸念される。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	熊本地震や岱明図書館の移転のための休館の影響で達成ができなかった。しかし、岱明図書館の移転開館や天水公民館図書室の図書館への格上げを行うことにより成果向上の余地が十分あるものである。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	就学前児童、小学生生への移動図書館の活用し、また、図書館資料の整備を引き続きおこない、乳幼児から高校生まで活用しやすいような図書館の整備を行う。さらに、岱明図書館の移転開館や天水公民館図書室の図書館への格上げを行うことにより、子ども読書推進に係る読み聞かせスペース等の施設充実を図っていく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	ヤングコーナーの工夫や専門書の蔵書充実を図った。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	「第二次子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭、地域、学校と連携し、子どもたちが読書に親しめる事業を進めるとともに、おはなし会など図書館独自の行事を行い、子どもたちの読書に触れる機会づくりに努める。	評価責任者 松下 匡
------------------	---	---------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	図書館システム事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	小山 聡
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)生涯学習の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 3 細目 4			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	デジタルやインターネット情報等の普及により、利用者ニーズが多様化し、ネットによる蔵書検索や予約リクエストなどの情報が提供が求められている。
対象(誰、何に対して) 【9】	図書館利用者、団体、図書館、各種システム
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	貸出管理、図書管理は、図書館運営には重要である。蔵書及び登録者データを合理的に管理し、利用者のニーズに応えサービスを迅速かつ円滑に提供する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・電算システムにより貸出管理や蔵書管理等を行う。 ・図書購入オンラインポータルサイト[tooLi]を用いて図書データの登録と管理を行う。 ・収集方針に基づいた図書資料の選定と発注内容等を管理する。 ・図書館システムのデータベースに図書目録をデータ化する。	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① 図書館システム(ソフトウェア)運用事業 ② 図書目録作成事業 ③ 図書館オンラインポータルサイト(TOOli)使用事業 ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	5,649	5,598	5,598	4,802	
	【16】 小計	5,649	5,598	5,598	4,802	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員件 の費	職員人工数	0.15	0.15	0.15	0.15	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計		864	881	881	881		
合計		6,513	6,479	6,479	5,683		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 図書館システム(ソフトウェア)運用事業	クラウドサービスの利用により貸出管理、蔵書管理、レファレンス等の業務を行う。	図書館の(3館)の蔵書冊数	冊	238093	245604	244513	250000
② 図書目録作成事業	「tooLi」を用いて発注し、図書のデータ登録、管理する。	図書登録冊数	冊	9449	9173	8907	9800
③ 図書館オンラインポータルサイト(TOOL)使用事業	図書館システムのデータベースに図書目録を作成する。	図書目録冊数	冊	5737	5151	5156	6000
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 図書館(3館)貸出冊数	貸出延べ冊数	冊	400000	370000	360000	360000
			345000	350156	332451	
2 図書購入メールリクエスト及び貸出ネット予約合計件数	図書購入メールリクエスト及び貸出ネット予約が行われた合計件数	件	800	1500	1500	1500
			1183	1386	1416	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	図書館の情報を管理するシステムであり、事業を廃止すれば、図書館運営に大きな支障をきたす。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	熊本地震や岱明図書館の移転のための休館の影響で達成ができなかった。
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性 【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	システムを利用した資料の登録を行い、増加する資料の中から利用者の求めに応じた資料を的確、迅速に提供できるように、予約やリクエスト等もシステムを活用しながら迅速に行えるようになっていく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況 【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	図書館システムを有効活用し、適確な蔵書管理や、より一層利用者のニーズに応えていけるよう事業を継続していく。	評価責任者 松下 匡
-------------------	---	---------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	図書館施設管理事業		所管課 【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	小山 聡
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)生涯学習の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 図書館法、玉名市図書館条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 3 細目 5			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	各図書館は建設後年数が経過し老朽化が進行していることから、利用上の安全性の確保や、効率的な施設管理が必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	図書館利用者、団体、図書館
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	利用者に対して安全で快適な図書館を提供するために施設の維持管理を適切に行う。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・施設の定期点検(消防設備点検、警備保障点検、浄化槽清掃維持管理等)を行い、図書館が安心・安全に利用できるよう維持管理を行う。 ・利用者に配慮し、安全で快適な利用環境を確保するため修繕等行う。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 図書館施設維持管理事業 ② 図書館施設修繕事業 ③ ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	5,594	5,582	6,196	24,152	
	【16】 小計	5,594	5,582	6,196	24,152	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.25	0.25	0.25	0.25	
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計		1,440	1,468	1,468	1,468		
合計		7,034	7,050	7,664	25,620		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 図書館施設維持管理事業	委託業者により施設の各整備を定期的に点検する。	設備点検委託件数	件	7	7	7	7
② 図書館施設修繕事業	施設や設備の修繕を行い、安全で快適な利用環境を確保する。	修繕件数	件	9	7	17	7
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 図書館利用者数	図書館利用者(3館)の延べ人数	人	100000 92205	95000 92653	95000 88775	95000
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	利用者が安心・安全に図書館を利用できるように、施設の維持管理は欠かせない業務である。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	熊本地震や岱明図書館の移転のための休館の影響で達成ができなかった。
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	市民図書館については、経年劣化等により随時、修繕を行っている状況である。今後も利用者が安心して図書館を利用できるように引き続き施設の維持管理に努める。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■ 評価責任者記入欄 ■

評価責任者(課長)の所見【33】	定期的に図書館巡回を行い、来館者が気持ちよく利用できるよう、施設の維持管理を継続していく。	評価責任者 松下 匡
------------------	---	---------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	社会教育団体支援事業		所管課【2】	生涯学習課
			評価者(担当者)	山川 祐樹
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)社会教育の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 1 細目 4			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	社会教育団体は社会教育活動を推進するための市民団体であり、市の社会教育行政の活性化のために必要で重要な組織であることから、可能な限りの支援が求められている。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、社会教育団体
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	社会教育団体活動の振興、普及、発展に寄与する公益性の高い団体に財政支援や人的支援を行う。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体の活動や運営に対する市補助金の交付</li> <li>事務局庶務および事業実施に対する人的支援</li> <li>家庭教育に関する講演会開催を各单位PTAに委託</li> </ul>	⇒	<b>事務事業を構成する細事業【15】</b> ① 市子ども会連合会支援事業 ② 市PTA連絡協議会支援事業 ③ 青少年育成市民会議事務局支援事業 ④ 女性の会助成金交付事業 ⑤ 家庭教育講演会による委託事業

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	3,356	2,519	2,508	2,773
	【16】 小計	3,356	2,519	2,508	2,773	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員件 の費	職員人工数	1.10	1.20	1.06	1.06
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計		6,337	7,045	6,223	6,223	
合計		9,693	9,564	8,731	8,996	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 市子ども会連合会支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	1554	1211	1386	1450
② 市PTA連絡協議会支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	860	518	552	600
③ 青少年育成市民会議事務局支援事業	活動等に対する補助金交付や人的支援を行う。	開催事業参加者数	人	230	261	275	300
④ 女性の会助成金交付事業	活動等に対する助成金交付や団体間の交流会を開催する。	助成金交付団体数	団体	8	9	9	10
⑤ 家庭教育講演会による委託事業	委託により、家庭教育に関わる講演会を開催させる。	開催事業参加者数	回	4	0	4	6

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 社会教育推進団体数	社会教育団体の構成団体数	団体	18	20	20	14
			13	14	14	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	社会教育団体の活動は、各団体が青少年の健全育成及び女性の地域貢献活動など、それぞれがテーマを持って、地域の活性化に大きく寄与しており、廃止すれば地域それぞれの問題の増加、社会教育の振興が十分に行えない恐れがある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	各団体ともに特色のある取り組みを行っている。また、活動や目標に上限はなく、積極的なサポートを行う。女性の会助成金交付団体及び家庭教育講演会の契約団体の拡充を図る。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	社会教育団体活動は、その妥当性や必要性が非常に高くサポートしていく必要がある。各団体への補助金額の検討や人的サポートの在り方については、簡単に判断できるものではなく、じっくり精査し実際の活動状況や組織の現状等を踏まえた見直しを今後も検討する必要がある。			
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	各団体の活動内容を把握し、団体及び行政の在り方や役割について再確認を行った。役割分担を的確に行い、より良い活動ができるよう努める。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	社会教育団体の活動が活発になることは、玉名市域全体、または各地域社会の活性化を図るためには重要である。今後とも、社会教育団体の支援を推進する。	評価責任者 木村 隆宏
------------------	---	----------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	放課後等の支援活動事業		所管課 【2】	生涯学習課
			評価者(担当者)	山川 祐樹
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)社会教育の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 1 細目 8			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	小学校低学年の児童が放課後の時間を活用した様々な体験や地域との交流活動を通じて、豊かな人間性を育む場の提供が必要である。また、地域コミュニティの活性化のために、地域と子どもの交流や学びあい活動を行う必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	該当小学校の1年生及び2年生の児童
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	小学校の空き教室を利用した安心・安全な活動拠点を確保し、地域の大人が見守りを行うなかで地域との交流や学びあい場を設ける。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H19 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	小学校や地域に事業実施を呼びかけて、実施校区を決定し地域住民がコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理人を務め、放課後児童の活動拠点としての支援活動を行う。	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 放課後子ども教室推進事業 ② ③ ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	66 % 534	532	558	558
		起債	% 0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	267	305	279	279
	【16】 小 計	801	837	837	837	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員件 の費	職員人工数	0.35	0.31	0.21	0.21
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小 計		2,016	1,820	1,233	1,233	
合 計		2,817	2,657	2,070	2,070	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 放課後子ども教室推進事業	小学校の空き教室で放課後に地域住民により体験学習を実施する。	放課後子ども教室実施校数	校	3	3	3	2
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 放課後子ども教室賛同率	アンケート調査による保護者・児童・地域住民の賛同割合	%	100	100	90	90
			95	96	97	
2 放課後子ども教室参加児童数	教室に参加した児童の人数	人	100	100	60	40
			66	49	54	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	共働きや核家族の増加は、子どもたちの放課後時間の過ごし方にも大きな影響を及ぼしている。安全で安心な環境の中、地域の方との交流を深めながら体験活動を行うことは、子どもたちの成長に大きく寄与する。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	事業の周知を図ったが、目標達成に至らなかった。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	学校及び地域ボランティアの協力を得ながら、事業を継続していく。また、コーディネーターを中心として、学校及び地域の更なる連携に努める。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	スタッフ、地元ボランティア、学校の方々の協力を得ること、連携を保つことに苦慮しながらではあるが、子どもたちにとって体験・交流活動を行うことで笑顔と楽しむ姿、健やかに育まれる環境づくりが構築される。今後も放課後等の支援活動事業を推進する。	評価責任者 木村 隆宏
------------------	--	----------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	人権教育啓発推進研修事業		所管課 【2】	生涯学習課
			評価者(担当者)	前濱 俊介
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)社会教育の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市人権教育・啓発基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 10 項 5 目 1 細目 9			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	同和問題をはじめとする、様々な分野での差別や偏見の解消のための取組みが行われてきたが、依然として職場や地域社会における人権に関わる問題が引き起こされ、当然の権利である基本的人権が十分に保障されていない事実がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、小学生、中学生、高校生、学校教職員、人権
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	正しい理解と知識をもって正しい人権感覚を養い、すべての人の人権意識を高める。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・玉名市人権教育研究協議会に委託して講演会等を開催する ・玉名市人権教育研究協議会総会開催への人的な支援を行なう ・玉名市人権教育研究大会を開催する ・人権・同和教育各研修会に参加する ・人権週間における街頭啓発活動を行う	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 市人権教育推進協議会事務局庶務事業 ② 市町村人権同和教育協議会事業 ③ 人権教育推進啓発事業 ④ 人権教育研修事業 ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,991	2,327	2,022	2,560
	【16】 小 計	1,991	2,327	2,022	2,560	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員件 の費	職員人工数	0.30	0.42	0.55	0.55
		職員の年間平均給与(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小 計	1,728	2,466	3,229	3,229		
合 計		3,719	4,793	5,251	5,789	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 市人権教育推進協議会事務局庶務事業	協議会へ人権教育研究大会を委託すると共に、事務的支援を行う。	開催回数	回	1	1	1	1
② 市町村人権同和教育協議会事業	協議会主催の研修会に参加する。	参加回数	回	5	5	5	5
③ 人権教育推進啓発事業	人権啓発週間における啓発物を配布する。	啓発活動日数	回	4	4	4	4
④ 人権教育研修事業	研修会(講話会)の開催と研修会に参加する。	開催・参加回数	回	17	17	17	17
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 市人権教育研究大会開催賛同率	意識調査による参加者の大会開催についての賛同者の割合	%	90	90	90	90
2 市人権教育研究大会参加者数	参加者数	人	600	600	500	500
			540	520	500	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	人権教育推進は事業の縮小廃止を検討するような事業ではないと考えられる。差別やいじめを含む様々な人権問題について市民が真剣に考え、理解をすることが必要。間違った認識は平等であるべき人権が脅かされる状態になる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	人権教育は皆が平等で豊かな市民生活を実現するための重要な課題であり、市民一人ひとりが共生の社会を目指すためには、人権を基本に捉えた行政を推進することは必要なことである。また、人権に対して正しく理解し人権意識を高めるため、多くの市民がわかりやすく理解できるテーマや題材を提供していく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	参加者の増大および人権意識の向上を目的として、研究大会等でのテーマも工夫し今後も今まで以上に周知に努めた。人権教育研究大会の開催日の固定化を検討したが県や全国の研究大会の時期と運動するため出来なかった。今後も8月中の開催で進めていく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	あらゆる人権問題の解決のために研修の充実、市民の人権意識の向上に努め、人権教育啓発推進研修事業を推進する。	評価責任者 木村 隆宏
------------------	---	----------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	青少年センター事務局事業		所管課【2】	生涯学習課
			評価者(担当者)	芥川 由佳
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)社会教育の推進		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市青少年センター規則 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 5 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	少年非行は低年齢化、一般化の傾向を示し、凶悪・粗暴な非行が社会に大きな衝撃を与える事件も発生し、増加しており社会問題となっている。そのような中で、地域住民および関係機関、関係団体の協力の下で、地域の安全を確保する活動が必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	青少年、青少年教育関係者および団体、市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	警察、学校、地域並びに関係機関等との連携を密にし、非行の早期発見や防止に努め青少年の健全育成を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・市青少年センター事務局としての各種事務(会議開催、関係機関との連絡調整等)を行う。 ・市が委嘱した補導員による街頭での巡回指導等を行う。 ・犯罪や非行のない社会を築こうとする活動である“社会を明るくする運動”を毎年7月の強調月間に実施する。 ・玉名広域補導連絡協議会事務局としての各種事務(定例会や研修会等の開催)を行う。	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① 青少年センター事務局庶務事業 ② 社会を明るくする運動事業 ③ 玉名広域補導連絡協議会事務局庶務事業 ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,245	3,497	3,513	4,704	0
		【16】 小計	3,245	3,497	3,513	4,704	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,188	1,188	1,188	1,188	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.40	0.35	0.39	0.39	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計		2,304	2,055	2,290	2,290		
合計			5,549	5,552	5,803	6,994	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 青少年センター事務局庶務事業	教育委員会が委嘱した補導員により青少年を健全に育成する。	街頭補導実施回数	回	306	312	307	308
② 社会を明るくする運動事業	広報等の啓発活動を行う。	広報車巡回活動	回	2	2	2	2
③ 玉名広域補導連絡協議会事務局庶務事業	広域的に、青少年に関わる事業に取り組む。	街頭補導実施回数	回	84	84	84	84
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 市内少年犯罪発生件数	市内における18歳未満の少年少女が犯した犯罪発生件数	件	0	0	0	0
			17	17	18	
2 玉名警察署管内の検挙・補導件数	玉名警察署が検挙・補導した件数	件	0	0	0	0
			17	19	13	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	青少年の非行問題を早期に発見し、適切な指導及び助言を行い、犯罪件数の減少につとめるには必要な事業と考える。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	玉名市と同様青少年センターを設置している他市では夜間補導や相談業務を行っている。玉名市も今後導入しなければならないと思う。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	少年の問題行為を早期に発見し、適切な補導及び助言を行うために学校や警察との連携を密にするためにも、青少年センターを活動拠点とし、生徒指導会議に出席し情報交換を行う。夜間街頭指導の充実や社会を明るくする運動での大型店舗での声かけなどを補導員・関係団体と協力し推進していく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	近年はスマートフォン等の急速な普及により新たにネット上での問題が増えている。このような問題を解決するために家庭・学校・地域ならびに関係機関などの連携により、非行の早期発見ならびに防止に努めると共に、少年の健全育成を図るために青少年センター事務局事業を推進する。	評価責任者 木村 隆宏
------------------	--	----------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	公民館施設管理・運営事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	松永 千秋
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(3)社会教育施設の充実		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法、公民館条例、玉名市文化センター条例 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 玉名市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 2 細目 5			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	生涯学習の場である公民館としての機能を持ち、多様化する市民のニーズに対応するため、生涯学習の振興と市民教養の高揚を図り、市の文化水準の向上に寄与する。
対象(誰、何に対して) 【9】	公民館利用者、中央公民館、岱明町公民館、横島町公民館、天水町公民館
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	利用者が安心・安全に利用しやすいように、公民館施設の整備や定期的な保守点検や修繕等を行うとともに、生涯学習施設としての利用貸出を行う。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	市民の皆さんが、会合や教養、文化活動などに研修室等を利用される場合、施行規則に基づき貸し出す。また、利用者が気持ちよく利用できるように配慮するため、施設の維持管理や修繕を行い、利用者が安全で衛生的に利用が出来る場所にするよう努める。また、横島町公民館及び天水町公民館においては近隣の体育施設の貸出を行う。	⇒	事務事業を構成する細事業【15】 ① 中央公民館(文化センター)施設管理運営業務 ② 岱明町公民館施設管理運営業務 ③ 横島町公民館施設管理運営業務 ④ 天水町公民館施設管理運営業務 ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	2,759	2,710	3,026	2,085
		その他	611	541	494	388
		一般財源	36,021	38,431	38,516	36,066
	【16】 小計	39,391	41,682	42,036	38,539	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,599	1,614	1,728	1,728	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	1.90	1.67	1.55	1.55
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計		10,946	9,805	9,100	9,100	
合計		50,337	51,487	51,136	47,639	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 中央公民館(文化センター)施設管理運営業務	施設の維持管理・運営や貸出等を行う。	開館日数	日	355	356	356	356
② 岱明町公民館施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	開館日数	日	310	326	329	329
③ 横島町公民館施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	開館日数	日	357	358	357	357
④ 天水町公民館施設管理運営業務	施設の維持管理や貸出等を行う。	開館日数	日	303	305	214	0
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 公民館利用者数	公民館利用者延べ人数(公民館図書室利用含む)	人	100400	100000	112000	102000
			109523	112296	121347	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	廃止した場合、利用者の安全面が確保されないばかりが、市民の文化教育等の生涯学習活動の拠点を失うことになる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	利用者が利用しやすいように、利用基準の緩和を図った。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	文化センターの大規模改修前に、劣化が進んでいるところは、早急に修理を行う。改修時期を見ながら、順次算定基準の統一を図っていく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	まずは、天水町公民館の集約化に伴う増改築を機に、庁内定例会の中で使用料について関係課を交えて協議をし、方向性を見出した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	公民館利用者が安全、安心に利用できるよう、老朽化した施設の修繕や備品の入れ替えを行うなど、維持管理を継続実施していく。また、天水町公民館の集約化や文化センター改修等についても、関係課と協議・調整を行っていく。	評価責任者 松下 匡
------------------	--	---------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	自治公民館施設整備事業		所管課【2】	コミュニティ推進課
			評価者(担当者)	松永 千秋
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(3)社会教育施設の充実		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市自治公民館施設整備費補助金交付要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 10 項 5 目 2 細目 8			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市内には258箇所の自治公民館が存在している。自治公民館は、地域住民の一番身近な交流施設であり、建物の中には、老朽化している建物が数多く存在しているため、地域住民の一番身近な生涯学習の場並びに交流施設としての充実を図る必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、自治公民館
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	自治公民館の新築及び修繕の経費を市より補助することで、住民の学習意欲に答え、地域づくりの拠点として施設の安全及び利便性を向上させる。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	社会教育の推進に必要な自治公民館の活動を促進し、社会教育活動の振興発展を図るため、自治公民館を整備しようとする地区に対して補助金を交付する。 新築(建築後24年以上の建替えを含む)及び購入(建築後10年以内)の場合は、事業費の3分の1かつ上限300万円。増築・改築の場合は、事業費の3分の1かつ上限100万円。修繕の場合は、事業費の3分の1かつ上限30万円。
	事務事業を構成する細事業【15】 ① 自治公民館施設整備補助事業 ② ③ ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	5,730	7,470	3,790	20,200
	【16】 小計	5,730	7,470	3,790	20,200	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.25	0.35	0.25	0.25
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871
【17】 小計	1,440	2,055	1,468	1,468		
合計		7,170	9,525	5,258	21,668	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 自治公民館施設整備補助事業	公民館の新築・改修・修繕を行う行政区に対し、補助金交付を行う。	補助金交付単年度件数	件	7	9	8	9
②		補助金交付累計件数	件	79	88	96	105
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 自治公民館整備率	H17年度以降の補助金累計交付件数/全自治公民館数(258)×100	%	30.00	33.30	36.40	40.69
			30.60	34.10	37.20	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	事業費の3分の1が補助されるということもあり、事業を廃止した場合、各区の自主財源のみでの実施となることから、住民主体による地域コミュニティの衰退など地域づくりそのものへの影響が懸念される。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	地域の核であるとともに地域コミュニティの場でもある自治公民館は老朽化しており、外部塗装、瓦の葺き替え、洋式トイレ等の改修や建て替えの要望が増加している。今後も更に要望件数の増加が見込まれ、また、雨漏り等突発的な修繕にも対応できる予算を確保しながら、引き続き地域づくりの拠点施設の充実を図る。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	自治公民館の整備は、地域活動の推進に役立っており、地域生涯学習の拠点として整備が必要である。施設が老朽化している所も多く、瓦の葺き替えや様式トイレへの改修等、市民の要望に対応するため、自治公民館整備費補助金を交付することにより、施設整備の充実や地区の負担軽減にもつながっている。	評価責任者 松下 匡
------------------	---	---------------